

講義名	スポーツイベント論			授業形態	
担当教員	山口 志郎	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

今日、スポーツイベントは単なる競技機会にとどまらず、地域振興、観光振興、都市ブランド形成、社会的包摂の促進など、多様な社会的役割を担う存在となっている。特に、メガスポートイベント、市民マラソン、国際総合大会等は、経済効果に加え、レガシーやヘリテージの創出、地域アイデンティティの形成などの社会的効果にも影響を与えている。本授業では、スポーツイベントを「企画」「運営」「評価」の観点から体系的に理解し、「ヒト・モノ・カネ・情報」という経営資源をどのように統合しながらマネジメントしていくのかを学ぶ。さらに、マーケティング、スポンサーシップ、ボランティアマネジメント、リスクマネジメント、テクノロジー活用、多文化共生、持続可能性、都市政策との関連など、多角的な視点からスポーツイベントを考察する。理論と事例の双方を扱いながら、スポーツイベントが社会や地域にどのような価値を生み出し得るのかを自ら考察できる力を養う。

到達目標

本授業では、以下の到達目標の達成に向け進行する。
 1) スポーツイベントに関する基礎的な理論および実務知識を習得できるようになる。
 2) スポーツイベントを多様な視点(組織、マーケティング、財務、リスク、社会的価値等)から分析できるようになる。
 3) スポーツイベントの企画・立案に必要な思考力および提案力を身につけることができるようになる。

提出課題

毎回の授業終了後に、その日の感想・質問・ポイント等を小レポート(レスポンス)として提出してもらう。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

毎回の小レポート課題は、レポート評価をした後、学生にフィードバックし、レポートの書き方やクリティカルシンキングのための考え方やキーワードを個別または授業全体で解説する。

評価の基準

期末試験 50%
 平常点(毎週の小レポート) 50%

履修にあたっての注意・助言他

私語を慎み、提出物の期限を厳守すること。配布資料は事前に通読すること。授業計画は進行状況により変更する可能性がある。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

プリント資料は必要に応じて配布する。

授業計画

1. スポーツイベント概論
 予習内容:
 シラバスを確認し、関心のあるスポーツイベントの事例の一つを選び、その定義や種類、社会における役割について整理すること。(120分)
 履修内容:
 講義内容を踏まえ、スポーツイベントの意義や特徴を自分の言葉で整理し、レスポンスを提出すること。(120分)
2. スポーツイベントの計画と効果
 予習内容:
 スポーツイベントの計画事例を調査し、目標設定や基本設計の考え方について整理すること。(120分)
 履修内容:
 イベントの効果(経済的・社会的側面を含む)の捉え方について理解を深め、レスポンスを提出すること。(120分)
3. スポーツイベントの運営とオペレーション
 予習内容:
 当日運営や動線設計、安全管理に関する事例を調査し、業務上の工夫について整理すること。(120分)
 履修内容:
 オペレーションの基本構造と安全確保の重要性について理解を深め、レスポンスを提出すること。(120分)
4. スポーツイベントと組織
 予習内容:
 スポーツイベントの組織体制や役割分担について事例を調査すること。(120分)
 履修内容:
 ガバナンスや組織運営の課題について整理し、レスポンスを提出すること。(120分)
5. スポーツイベントとステークホルダー
 予習内容:
 参加者、観客、主催者、行政などの関係者を整理し、それぞれの期待や役割についてまとめること。(120分)
 履修内容:
 多様な関係者の連携や利害調整の重要性について理解を深め、レスポンスを提出すること。(120分)
6. スポーツイベントとマーケティング
 予習内容:
 ターゲティングやプロモーションの事例を調査し、ブランディングの視点から整理すること。(120分)
 履修内容:
 スポーツイベントにおける市場戦略の特徴について理解を深め、レスポンスを提出すること。(120分)
7. スポーツイベントとスポンサーシップ
 予習内容:
 スポンサー契約やパートナーシップ事例を調査し、価値創出の仕組みを整理すること。(120分)
 履修内容:
 スポンサーとの関係構築の意義について理解を深め、レスポンスを提出すること。(120分)
8. スポーツイベントの財務構造と価値評価
 予習内容:
 スポーツイベントの収支構造や資金調達方法を調査し、主要な収入源や支出項目を整理すること。(120分)
 履修内容:
 財務構造とイベントの意思決定の関係、およびイベントの価値評価の視点について理解を深め、レスポンスを提出すること。(120分)
9. スポーツイベントとリスクマネジメント
 予習内容:
 過去の事例を調査し、危機管理や安全対策の課題を整理すること。(120分)
 履修内容:
 リスクマネジメントの基本的考え方について理解を深め、レスポンスを提出すること。(120分)
10. スポーツイベントと情報
 予習内容:
 メディア露出や情報発信の事例を調査し、その特徴を整理すること。(120分)

授業形態(アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> ア:PBL(課題解決型学習)	<input type="radio"/>	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> ウ:ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ:グループワーク
<input type="radio"/> オ:プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ:実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

<学科共通>
 まますま高齢化社会が進む現代社会において、子どもから高齢者までの広範囲にわたる健康分野に関する基礎知識を身につけ、健康関連産業やスポーツ関連産業で就業することができる。
 スポーツイベントは健康関連産業およびスポーツ関連産業の中核的分野の一つであり、本授業ではスポーツイベントの企画・運営・評価に関する基礎知識を体系的に学ぶ。そのため、健康・スポーツ関連産業に関する理解を深める科目としてDPに貢献し得る。
 <スポーツ健康コース>
 「みる」「みる」「ささえる」の視点で、スポーツをキーワードとする関連事業分野、業種において企画運営に携わることができる。
 本授業では、「みる」「ささえる」の各視点をスポーツイベントという実践的な場を通して理解し、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」の経営資源の統合という観点から企画・運営を学ぶ。したがって、スポーツ関連事業分野における企画運営能力の育成に資する科目であり、DPに貢献し得る。
 健康産業やスポーツ産業などの多様な社会的背景と今後の課題に対応について、分析・評価・企画を行うことができる。
 スポーツイベントをマーケティング、財務、リスクマネジメント、持続可能性、都市政策など多角的な視点から分析することで、社会的背景を踏まえた評価および企画の視点を養う。よって、DPに掲げられている分析・評価・企画能力の育成に貢献し得る。
 <スポーツ健康コース>
 地域貢献活動などのフィールドワークを通して身につけた、幅広い年齢層に対応できるコミュニケーション能力やリーダーシップ、マネジメント力を発揮することができる。
 本授業はスポーツイベントの企画・運営・評価を主題とする科目であり、スポーツパフォーマンス向上の理論や指導法を直接扱うものではない。そのため、本DPとの関連は限定的である。
 健康保持・推進やスポーツパフォーマンス向上のための理論や指導法を学び、それを通じて身につけたプレゼンテーション能力に基づく効果的な指導ができる。
 本授業はスポーツイベントの企画・運営を主題とするため、直接的にスポーツパフォーマンス向上の理論や指導法を扱う科目ではない。ただし、スポーツイベントが健康増進や地域スポーツ振興に果たす役割を理解することで、健康・スポーツ分野に関する理論的背景の一部を学ぶことができる。そのため、DPに一部貢献し得る科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

レスポンスを活用した参加型授業やQRコードを読み取り、アンケートに答えてもらいながら、学生の理解を深める授業などを展開する。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり:スポーツ関連企業やスポーツイベント、健康関連産業とのネットワークを活かし、ゲスト講義の依頼や現場実習(フィールドワーク)、担当者へのプレゼンテーション機会を創出する。

備考